

横浜港港湾情報システム

Yokohama Port Information System

横浜市港湾局では、横浜港に入港する船舶や港湾施設を総合的に管理・運用するために、昭和57年(1982年)から横浜港港湾管理システム(第1次システム)により各ふ頭をオンラインで結び、船舶や貨物の動きを把握して、港湾管理業務の迅速化・効率化を進めてまいりました。

また、平成11年(1999年)からは、港湾諸手続の簡素化・迅速化を促進し利用者サービスの向上を図るため、電子申請(港湾EDI※1申請)を実施しています。

平成15年(2003年)4月にシステムを更新し、横浜港港湾情報システム(第3次システム)として運用を開始しました。第3次システムでは、電子申請システムとの連携を実現して利便性を高めるとともに、船舶の入出港情報や港湾施設の使用状況などをインターネットにより公開・提供し、港湾利用者への一層のサービス向上を図りました。

平成15年(2003年)7月からは、1回の入力・送信で関係機関に港湾諸手続が申請できる「シングルウィンドウシステム(現NACCS)」に接続しています。

平成20年(2008年)3月には、電子申請時の通信内容を暗号化するSSL※2を導入し、セキュリティの向上を図りました。そして、国が構築した「府省共通ポータル(シングルウィンドウ)(現NACCS)」に対応し、10月12日の運用開始日から接続を開始しています。

平成21年(2009年)10月には、NACCS(旧府省共通ポータル)を経由する電子申請として、新たに入港料減免申請と船舶運航動静通知の2申請を追加しました。

平成31年(2019年)4月には、15年稼働した第3次システムをシステム更新した横浜港港湾情報システム(第4次システム)の運用を開始しました。

今後も引き続き、港湾諸手続の一層の簡素化・迅速化による横浜港の国際競争力強化を推進してまいります。

※1 EDI(Electronic Data Interchange: 電子データ交換)

電子データを、標準的な規約(可能な限り広く合意された規約)を用いて、通信回線を介してコンピュータ間で交換すること。

※2 SSL(Secure Socket Layer)

盗聴やなりすましを防ぐため、通信データの暗号化や相手の認証を行う手段。

<横浜港港湾情報システム画面>



<横浜市港湾局EDIシステム画面>



<横浜港情報公開システム画面>



横浜港港湾情報システム

船舶管理システム

- 岸壁使用管理
- 船席決定支援 (GUI) GUI: Graphical User Interface 利用者にわかりやすいように絵表示した画面のこと
- 運航スケジュール管理
- 湾内遊覧船実績管理
- 入港料管理

荷役施設管理システム

- 物揚場使用実績管理
- 渡船橋使用実績管理

施設管理システム

- 上屋・荷さばき地使用許可管理
- 専用施設使用管理
- 水域占用管理
- 電気施設使用管理
- 水道施設使用管理
- 国有地転貸管理
- 市有普通財産貸付管理
- 港湾環境整備負担金管理
- 行為許可管理

料金管理システム

- 調定処理管理
- 納入通知書管理
- 現金領収管理
- 口座振替管理
- 消込処理

EUC情報検索機能

- 船舶・荷役・施設情報検索

EDIシステム(電子申請受付)

- 入港届 (NACCSと連携)
- 入港料減免申請 (NACCSと連携)
- 入港前統一申請 (係留施設使用許可申請書) (NACCSと連携)
- 上屋・荷さばき地使用 (新規・継続) 許可申請書
- 上屋・荷さばき地使用 (全部・一部) 完了申請書
- 船舶運航動静等通知書
- 物揚場使用許可申請書
- 時間・水先人・曳船変更届
- 岸壁使用許可申請書 (ふ頭扱い船)

情報公開システム

- 入出港予定船情報照会 (文字 / グラフィック表示・CSVファイルに出力)
- Entry Schedule (英語版船舶動静情報照会)
- 月間入港予定船情報照会
- 上屋・荷さばき地使用申請情報照会
- 船舶関係使用料金情報照会
- 施設使用料金情報照会
- 掲示板

港湾情報システム上のデータの流れ

横浜港利用者

持参、FAX
申請データ

【NACCS経由の電子申請】
・入港届
・入港料減免申請
・入港前統一申請
(係留施設使用許可申請)

電子申請
データ

NACCSに申請したデータ
NACCS

インターネット

EDIシステム

【本市独自の電子申請】
・船舶運航動静等通知書
・上屋・荷さばき地使用(新規・継続)許可申請書
・上屋・荷さばき地使用(全部・一部)完了申請書
・物揚場使用許可申請書
・時間・水先人・曳船変更届
・岸壁使用許可申請書(ふ頭扱い船)

申請受付・回答
(回答は、EDIシステムのWEB画面上に表示し、申請者がアクセスして確認する方式)

横浜港港湾情報システム

船舶管理システム
・入港届
・入港料減免申請
・入港前統一申請
(係留施設使用許可申請)
・船舶運航動静等通知書
・時間・水先人・曳船変更届

荷役施設管理システム
・物揚場使用許可申請書
・渡船橋使用許可申請書

施設管理システム
・上屋・荷さばき地使用許可申請書
・上屋・荷さばき地使用完了申請書
・専用施設使用許可申請書
・水域占用使用許可申請書
・電気施設使用許可申請書
・水道施設使用許可申請書
・国有地転貸許可申請書
・市有普通財産貸付許可申請書
・行為許可

料金管理システム
・使用料納入通知書発行
・使用料現金領収関連処理
・使用料口座振替処理

情報公開システム
・船舶入出港予定情報
・月間入港船予定情報
・上屋・荷さばき地使用申請状況
・船舶関係使用料金情報
(公共港湾施設利用者のみ)
・施設関係使用料金情報
(公共港湾施設利用者のみ)

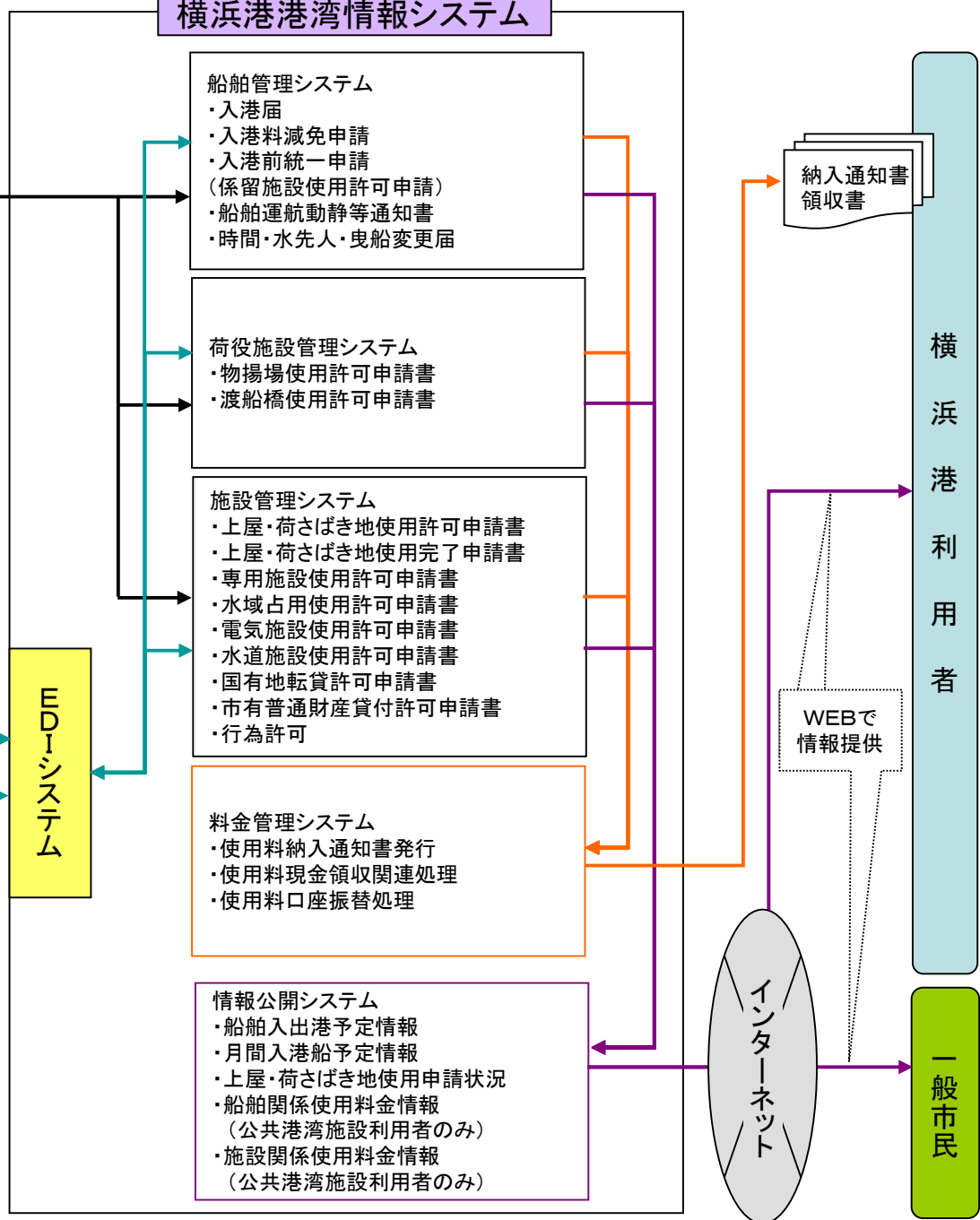
納入通知書
領収書

WEBで
情報提供

インターネット

横浜港利用者

一般市民



システムの歩み

昭和49～51年	港湾局業務現状調査・分析、横浜港港湾管理システム概要設計
昭和52～55年	システム導入機器決定、システム開発着手、マシン室等設備工事、センターコンピュータ・端末機・表示装置等設置
昭和56年	システム運用テスト、料金管理、上屋・荷さばき地管理、物揚場等管理システム稼働
昭和57年	船舶入出港管理システム稼働、横浜港港湾管理システム全面稼働
昭和58年～	システム評価見直し、改善
昭和61年	コンテナ搬入出データFD交換システム開発
昭和62年	センターコンピュータ、端末機器更新
昭和63年	新機種によるシステム稼働(1月)、本格的な日本語化処理システム導入
平成元年	指定統計管理システム開発
平成2年	船舶情報表示システム開発(地図情報システムの導入)
平成4年	システム全面再構築に着手
平成5年	システム設計
平成6年	プログラム開発、システム総合テスト、平行稼働テスト
平成7年	第2次横浜港港湾管理システム全面稼働(1月)
平成11年	横浜市港湾局EDIシステム稼働開始(10月)
平成13年	第3次横浜港港湾情報システム開発に向け検討・調査
平成14年	横浜港統計管理システム稼働(Sea-NACCSに対応)
平成14年	第3次横浜港港湾情報システム設計、プログラム開発、システムテスト
平成15年	第3次横浜港港湾情報システム全面稼働(4月)、シングルウィンドウ(現NACCS)に接続(7月)
平成17年	横浜市港湾局EDIシステムに2手続を追加(4月) (物揚場使用許可申請、時間・水先人・曳船変更届) 横浜市港湾局EDIシステムに2手続を追加(11月) (岸壁使用許可申請(ふ頭扱い船)、新船舶運航動静等通知)
平成18年	横浜市港湾局EDIシステムに岸壁定期使用許可申請を追加
平成20年	サーバ・クライアント系機器更新 横浜市港湾局EDIシステムにSSLを導入 府省共通ポータル(現NACCS)に接続
平成21年	府省共通ポータル(現NACCS)に2手続を追加(10月) (入港料減免申請、船舶運航動静通知)
平成25年	サーバ・クライアント系機器更新 府省共通ポータルがNACCSに統合
平成31年	システム更新により第4次横浜港港湾情報システム稼働(1月)

横浜市港湾局港湾管財課 作成:平成23年8月 更新:令和3年7月

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

TEL 045-671-7082 / FAX 045-662-6466

E-Mail: kw-it-suisin@city.yokohama.jp

横浜市港湾局EDIシステムホームページURL: <https://www.port.city.yokohama.lg.jp/SSO/>

横浜港情報公開システムホームページURL: <https://www.port.city.yokohama.lg.jp/IDS/>